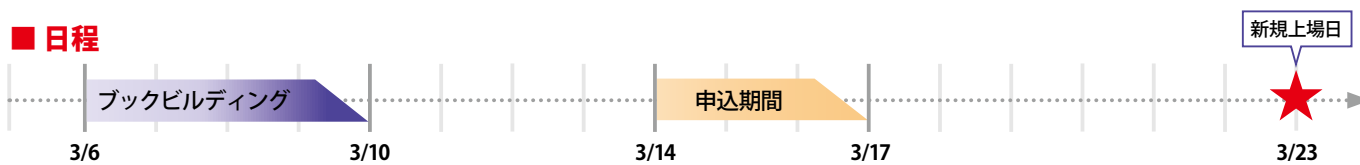


IPO銘柄 グリーنز (6547・東証2部)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6547	100株	公募: 200.00万株 売出: 240.00万株 (OA66.00万株)	1,350円~1,400円 (10.0倍)	野村証券

■ 日程



宿泊特化型ホテル「コンフォート」で全国展開

■ 事業内容

全国で「コンフォート」ホテルなど展開する。ホテル事業の単一業態だが、チョイスホテルズ事業とグリーンズホテルズ事業に大別される。チョイスホテルズ事業は、子会社のチョイスホテルズジャパンが、米国チョイスホテルズインターナショナル社が保有する「コンフォート」など4つのホテルブランドについて、日本における独占的、優先的使用権を持つマスターフランチャイジーとして事業を展開。17年1月末現在、新築物件の賃借を中心に宿泊特化型の「コンフォート」ブランドのホテルを全国で59店展開する。グリーンズホテルズ事業では、三重県を中心に宿泊特化型ホテルから宿泊、レストラン、集・宴会場を備えたホテルまで、地域のニーズに合わせた様々なタイプのホテルをドミナント（囲い込み）展開する。宿泊特化型の「ホテルエコノ」、レストラン、集・宴会場を併設した「ホテルグリーンパーク」「ロードイン」などがあり、店舗数は29店。

■ 特徴

チョイスホテルズ事業のフランチャイズ先であるチョイスホテルズインターナショナル社は、ニューヨーク証券取引所に上場する、世界35カ国以上で6,300軒以上のホテルを展開する世界第2位のホテルチェーン。もう一方のグリーンズホテルズ事業では個人経営のホテルをM&A、賃借、運営受託することで店舗展開。他社ホテルを取得した場合には、以前から使用されるホテルの名称をそのまま利用するケースも多い。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年6月期の連結経常利益は前期比5.3%減の21億4,900万円を予想する。上場費用を吸収できずに減益を見込んでいる。M&Aの動向に影響を受けるものの、インバウンド需要にはピークアウト感があり、目先の業績には一服感が台頭している。

■ 定性分析

株式市場でホテル株がインバウンド関連として人気付いたのは15年まで。ここ最近は物色人気の後退している。初値買いの集まりづらい東証2部への上場案件であり、今期業績が減益見込みであるなど、厳しい条件がそろってしまっている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は70億円強。東証2部への上場案件としては荷もたれ感が強く、厳しい初日となってしまうそう。同日上場はないものの、3月期末の上場ラッシュの中で相対的な魅力の乏しさが目立ってしまっている。(小泉健太)

■ 類似企業

グリーンズ(6547・東証2部)	予想PER10.0倍 (仮条件上限)
鴨川グランドホテル (9695・JASDAQ)	予想PER35.8倍
京都ホテル (9723・東証2部)	予想PER —

■ 引受証券

野村証券、大和証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、みずほ証券、岡三証券、SBI証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年6月期(実績)	22,494	—	2,110	—	1,387	—	138.8	1.0
16年6月期(実績)	25,006	11.2	2,270	7.5	1,289	▲7.1	129.0	1.0
17年6月期(会社予想)	25,775	3.1	2,149	▲5.3	1,483	15.0	140.6	12.5

※ 15年6月期より連結決算。16年12月に株式分割(1株→50株)を実施。
15年6月期、16年6月期のEPSおよび配当は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年6月期	200,000	14,287	1,954	50	195.4	13.7	109.2
16年6月期	200,000	14,432	3,215	50	321.6	22.3	49.9

※ 15年6月期、および16年6月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	新緑	2,550,000	25.50
2	TM	2,150,000	21.50
3	村木 敏雄	2,137,500	21.38
4	村木 雄哉	2,112,500	21.12
5	松井 清	250,000	2.50
6	雨澤 佳世	200,000	2.00
6	黒田 知佳	200,000	2.00
6	鈴木 麻祐	200,000	2.00
6	村木 尹久子	200,000	2.00

経営陣

役職	氏名
代表取締役会長	村木 敏雄
代表取締役社長	松井 清
専務取締役	村木 雄哉
取締役 チョイスホテルズ営業本部 本部長	山城 圭太郎
取締役 グリーンズホテルズ営業本 部本部長	長谷川 智英
取締役 管理本部本部長	伊藤 浩也
取締役 監査等委員(常勤)	秋山 憲男
取締役 監査等委員	木村 好己
取締役 監査等委員	土田 繁

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。